



US-1Aの離水をモチーフにしたジオラマ

若い頃にUS-1AのRS(レスキュースイマー)員をしていた友人からの依頼により作成したジオラマです。
スケールは1/72です。



以下、概略の作成記録です。

写真左：艇体前部から中部にかけて海水を流す溝、スプレースプリットが無かったため、スジ堀し支柱を追加しました。
 写真右：主脚を格納する部位がレジンパーツ（ポリウレタン樹脂）で胴体下部に接着する仕様となっておりましたが、脚カバーが無くプラ板で自作しました。更にホイールもPS-1の物を流用しているため、ホイール中央（白い箇所）に穴を開けボルト部分をプラの丸棒で自作しました。



私の友人は、実物に近い汚れた模型が好きなため、本模型にも「汚し」を施しております。写真でも分かるようにエンジン排気とBLCの排気(左主脚の上側)による「汚し」を再現しました。また、機体全体にも薄茶色で「汚し」を入れております。



離水状態とするため、機体が海面から若干浮いた状態としました。L字金具と止めネジ、透明のプラ板と太めの真鍮線で機体を固定しております。

前後の写真でもお分かりになると思いますが、この支柱部分は、水煙により見えなくなります。



- 模型及びジオラマとしての質感向上のために、以下に示す自作等を行いました。
- ・ 見張り員席の窓4つを透明なプラ板を加工しバブルウィンドウを自作し置き換えました。
 - ・ デカール(水に浸して貼るシール状の各種マーク)の一部「日の丸」、「NO STEP AREA」の各線及び「プロペラ危険範囲表示線」(赤色)等を塗装としました。一方、「機番号」及び「海上自衛隊」等については、デカールを使用しました。
 - ・ 水煙は、縫いぐるみなどに使用する目の細かい綿を駆使して表現しました。



海面の波は、鉄道模型を扱う(株)カトーから販売されている「大波小波」という水面や波を作ることができる具材で作成しました。

具材はジェル状であり、何度となく塗り、乾かし硬化させ、波の起伏を徐々に作っていくというものです。

時間と根気のいる作業を繰り返すことにより、波高を作り上げました。

私自身初めての試みであったため、思った程、上手にできませんでしたね。





ジオラマの作成には時間と労力がかかりますが、作り上げた後の達成感や充実感は格別ですね。
実はこのジオラマ、納期！？が決まってお作り中に没頭していたため、完成前後の写真を撮っていませんでした。
先日、友人にお願いし撮影して頂いたものを今回使用しております。